

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和3年7月6日（火）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時30分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 佐野 善弘 委員 前原 吉宏 委員 千葉 一男 議長 大橋 昭太郎
欠 席 者	委員 櫻井 功紀
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋 秀彰
協 議 事 項	（１）公共施設マネジメントについて （２）北浦梨の凍霜害について
そ の 他	
閉 会	午前11時36分

2号様式 協議の経過

鈴木委員長	それでは第 19 回になります、総務、産業、建設常任委員会をこれより始めたいと思います。着座にて進めたいと思います。 櫻井委員、今日欠席でございます。そのほか皆さん出席でございますので、委員会は成立しております。 では、本日の会議事項について皆様と進めてまいりたいと思います。まず初めに今月の 19 日に行います行政視察について、資料をいただきましたので、これに目をとおしていただくことと、その中で以前皆様に資料を、少しばかりの資料をお配りしたところで……（笑い声あり）見てきていただいたかと思いますが、本日それを基に加美町においての行政視察の質問事項等のまとめを行いたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。 その後、6 月 22 日に行いました、梨の凍霜害に係る現地調査における部分で報告書を作成しましたので、これについて後に皆さんの御意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いします。 それでは早速始めたいと思います。 まず初めに、私たちの政策提言のテーマであります公共施設マネジメントについての部分でございます。皆さんにお配りした資料についていろいろお目通しをいただいたと思いますが、その中で加美町に向けて、まずいろいろと先に取り組まれている自治体でございますので、その中でこういうことを質疑事項に入れたらどうかという御提案をいただきたいと思います。 皆さんに 1 つずつ言っていただきたいと思います。よろしいですかね。（「はい」の声あり） 休憩します。
	休憩 午前 9 時 3 2 分 再開 午前 9 時 3 4 分
鈴木委員長	再開をいたします。 では、佐野委員からお願いをしてよろしいですか。
佐野委員	さらっとこう読ませていただいたんですけれども、非常に細部にわたって各施設を大胆に廃止とか、各施設ごとに方向性を定めていたんですけれども、これは平成 29 年から 40 年ですかね。40 年間の計画ということでございまして、非常にこの細部にわたって存続とか廃止とか、施設ごとの内容でございました。 その中で、平成 27 年に町民の方からアンケートをとったようなんですけれども、その中でいろんな反対意見なんかも、学校なんかはだいぶ反対意見が出たということで、今年だけで宮崎の廃止とかなんとか出てましたけれども、まあ少しずつ進んでいるのかなということでございますけれども、やはり廃止とかなると日光市もそうだったんですけれども、住民の方から反発されてなかなか進まないというのが現状ですけれども、その辺はどうかと、計画を作ってね。各施設ごとに存続とか、廃止とか、統合してやるとかですね。その辺のやり方、手法というのはどのような。一番その辺が進める

	上ではクリアしなければわからない内容だと思うんですけども。
鈴木委員長	住民との合意形成をどのようにするかというところで捉えていいですかね。
佐野委員	そうですね。そういうところを捉えていかないとなかなか進まないと思いますので、その辺の進め方をどのようにしていくのかなというのが一番こう感じた次第です。非常に大胆に明確に施設ごとに作っている。この計画を作る中で、何人体制でやるのかな、これは。それなりの体制をしないとうちのほうではここまではできないのかなと。やはりだいぶ施設が多いということでお金が枯渇するということで、非常に危機感を持った進め方になっているんじゃないかなというのが私の読んだ中での感想です。
千葉委員	読んでということではなくて、あまり変わらないと思うんだけど、現状からどうのこうのしなくてはならないということはどういう社会でも大きな抵抗力がまずあるということを前提にしないといけない。だけれども、こういう自治体は多くの人の合意を何としてもこう、大事な話、何と言うんですかね、手法の一つですので、そこには失う怖さ、嫌さと、それからコミュニティーをどう維持していくかという、両方とも大事なんですけども、これをどう町民の合意形成を。合意の形成は無理だと思うんですよ、現実は。だけれどもやらなくちゃいけない。 そこで私は、学校にしても公共施設というのはコミュニティー形成の中の一つの核で、だから自分のコミュニティーがいかにこう維持していくかという原点で我々がこうやって行こうとすると自治体経営というものと必ずバッティングするわけですね。だからそのバッティングする難しさをどうやってエネルギーに集中して入れていくか。 やはりトップダウンではないけれども自治体経営として議会をどのように、今私が言ったように、片手間のできる仕事ではないと思っていますので、そのことを経営者も議会も互いに共通土壌の上でこの仕事はしていかないと難しいというふうに、私こういうのを読んできていませんけれども、思っています。 以上です。
鈴木委員長	推進体制の部分でどのようなやり方をしていくか、あとはトップダウンのような方向性もあるのかどうかというところを主にということによろしいですか。（「はい」の声あり） では、前原委員。
前原委員	私は薄いほうのホチキス止めのやつ。公共施設等総合管理計画のほうの28ページ。先ほど佐野さんが言っていたアンケート。この箱の中に全部まとめてあるんですけども、随分膨大な量だったのが、これのまとめにあたってどのように担当課が携わっていったのか聞いてみたいなど。 それと、48ページ、第5章、公共施設等総合管理計画の推進に向けてというくくりの中で、うちのほうでもやっていますけれども、地方公会計制度の取組との連携とある中で、財務4表の作成、これについてはなかなか大変だと思うんですけども、加美町はどのように。うちの町でだと企画財政な

	んですけれども、同じようにやっているのか。これは非常にマネジメントをするにあたっては基本になってくるもので、どういう、毎年ちゃんとやっているのか、どういう状況なのか聞きたいなと思いました。 それと大きいほうのホチキス止めの写真付きのほう、公共施設等個別施設計画、すごくきれいにまとめてあるんですけれども、この中にシステムが載っているんですよね。12 ページに公共施設保全マネジメントシステムを活用してって書いているんですよね。これをネットで調べたら、全国的にやっている B I M M S というのがあるんですよね。これ、有料なのか、どうなのか。民間企業がやっているもの。それに基づいて、この後ろのほうの、佐野さんが言っていた、すごく細かい資料を作ったのかなと思ったんですけれども、これについてどうなのか。これのフォローも、イメージのフォローもしっかり作ってあるので、それに基づいて作ったのか。うまくきれいにまとまっているのですばらしいと思ったんです。 担当課の職員だけではなかなかこれだけの資料を作るのは大変なので、その辺のノウハウもぜひ。 以上です。
鈴木委員長	まずは町民向けのアンケートの調査。あとは、財務諸表またはその財務状況における町の視点についてを伺う。あとはもう 1 つ、今言ったマネジメントシステムについて。それから、個別に関しての作成した部分に関してもまずどのような手立てを踏んで作られたのかということで、この 3 点。（「これ自体作るの大変」の声あり）まあ、担当でしているのか、うちの町みたいに業務委託したのか。その点を視察に行ったときには中心的に……思います。 では、吉田委員お願いします。
吉田委員	管理計画については、やはり国県等のマニュアルに沿ってというのが、同じような部分、同じくと言ったらちょっとまずいのかな、似たような部分で作られているのかなとは思って見ました。 ただ、ちょっと私が気になったというか、うちの町でも推進体制の中で、会議がどの程度行われているのかということがこの中でも執行部側との話し合いの中でありました。 それで、さっき佐野さん等々からも話が出ていましたけれども、この推進体制、個別計画の 13 ページには載っているんだけど、ただこれだけなのかなというふうにちょっと思ったんです。ですから、推進体制のその一番……ですかね、どういうふうに取り組んで、部会も 8 つの部会があるとは書いてありますけれども、やはりもう少し推進体制について詳しく教えていただきたいなということと、それに伴ってそれぞれの部署というか推進体制の中の会議でどの程度行われているのかなというのがちょっと見えないので、そういうところも今後うちのほうの町としても参考になればという思いでした。 それと、町政懇談会を町内 9 か所でやっているんですよね。ですから、そのときの町民に対するその説明資料というか、こういった資料等を出しながら説明会を行ったのか。日光市みたいに漫画的な一番わかりやすいという

	か、ああいうのが日光市にはあったんですけれども、どういう資料等をもって説明会が行われたのかなというのと、あとはその懇談会を行う部分においての町民の皆さんの反応はどうだったのかなと。これは当然息の長い仕事だからね。期間が長いことだからだけれども、ただやはり、この町民の皆さんからすれば、どこでも同じだと思います。ないよりあったほうが施設はいんだというのが多くの町民の方の思いであろうかと思うんで、その町民の反応がいかがだったのかなというのを聞きたいなと思っていました。
鈴木委員長	推進体制の内容についてとこのマネジメント計画について町民懇談会を行ったときの説明した部分における資料または町民の反応についてどういう状況だったかというのを質問事項に入れたらどうかという御提案でございます。 はい、副委員長。
山岸副委員長	今、委員の皆さんがおっしゃったとおり、私も、だいたい内容的にはそういう質問をしたいなという思いは同じでございます。それで、私としては、まずは合併したことによって、皆さんおっしゃるように相当の公共施設が一気に増えたわけですね。元々あるやつが、合併したことによって1つの町でわっとすごい施設が増えることになって、それぞれ皆老朽化しているということ。その対策のためにこういうことをやっているんですけれども、聞きたいということは、私が知る限りたいていみんな40年とか30年計画で1年に何割ずつ減らしていくとか、あるいは、減らすのはもちろんだし、維持していくとか、3種類の考え方で進めている状況なんですけれども、美里町は今そういう計画でやっていますけれども、加美町さんでは美里町でやっている考え方も入っているのかどうか、それだけお尋ねしたいなと思っております。 あとはほかの委員がおっしゃったことと大体同じ。
鈴木委員長	今のところ具体的にというか、美里町と同じようにというところが、どの点が同じなのか。
山岸副委員長	美里町の計画は国で出てきたのと同じようなやつさ。
鈴木委員長	そのとおりで、大体横並びなんだけれどもね。
山岸副委員長	ほとんど似たような計画で進んでいると思うんだけど。 一応そういうことですので、あと議長さんから聞いてください。
鈴木委員長	では、休憩します。
	休憩 午前9時51分 再開 午前9時53分
鈴木委員長	再開します。 では、私から。まず、新たにこの個別計画等を作成するのに、先ほど佐野さんも言いましたけれども、削減、廃止、統合等も、今議長が言いましたけれども、この方針を決定するに至ってのその経過については、どのように判断をしていったのかがまず1つと、それと、今議長が言ったとおり、この地域性への配慮というのはどのように考えたのかということが1つと、この推進体制、一応先ほど吉田委員もいろいろその部分についてのことを聞きたい

	ということでしたけれども、この議会と町民が同じ枠の中で区切られている中でこの管理計画の策定委員会における町民の、施設利用者とありますけれども、関わりとその内容について、この町民というところをもう少しお聞きしたいなということと、あと、トータルコストの部分で10年ごとに施設と面積を1割ずつ減らしていく計画を組んで、大規模改修も含めながら、その財政計画はきちんとあるのかということも踏まえてお聞きしたいなと思っていました。 1番はやっぱり方針決定をどのようにしてきたのかというのがやっぱり気になりますね。 ということで、皆さんにいろいろ言っていただきましたので、まとめたいと思います。 本日、公共施設マネジメントについて、加美町における行政視察の中で、質問事項をいろいろ皆様にお話をさせていただきました。その中におきまして、削減、廃止、またはそういう計画の中での住民の合意形成についてはどのように図られたのかということ。 あとは、この計画に対する推進体制について、内容をもう少し、内容についてお伺いをしたいということ。この計画における住民アンケートについて調査を行っているところで、その内容についての質問をしたいということと、町における財務関係の諸表を把握をどのように進めているのかですね。 あとは、この中で行われております公共施設等のこのマネジメントシステムについて、この資料だけでなくもう少し細部を詳しく教えていただきたいと。 あと、町民懇談会のこの計画について説明をしているということでございますので、その中での説明会等の内容または資料について、どのようなものを基に懇談会が行われたのか。または、そのときの町民の反応はいかがだったのかということをお聞きしたい。 それと、あとは地域における配慮、旧町3町の合併でございますので、その各地域に対しての公共施設の方向性に対して、その配慮はあるのかどうかというところ。 あとは、例えば学校統合については、段階的計画を組まれているが、これは地域的に段階的で進めていくという方向性はどのように決めたのかというところをお聞きしたいと。 あとは、この方針作成に関して、実際どのような判断をして策定したのか。その各5つの項目ですか、ありますよね。この施設の方針決定についての部分でどのような部分で決めたのかということ。 あとは、この推進体制の中におけるの議会と同じく横並びになっております町民というところの位置づけについて、どのようなことになっているのか、その部分についてお聞きをしたい。 ということで今、いろいろと御提案がありました。もし、これもというところがありましたらば。 では、休憩します。
--	---

	休憩 午前10時00分 再開 午前10時33分
鈴木委員長	再開します。 今、まとめていただきました部分に関しまして、一応この項目、例えば2番については多いですけども、このとおりとして提出をさせていただくという形でよろしいですか。（「はい」の声あり） では、このとおり加美町のほうに出していきたいと思います。 まず、常任委員会の政策提言による公共施設に関しては、本日以上でございますが、あと皆さんにこれをまた、少ない資料ですけども再度目を通していただければ研修のときに参考になると思いますので、よろしくお願いしたいと思います。 あと、次に移らせていただいてよろしいでしょうか。（「はい」の声あり） 6月22日におきまして、凍霜害の梨の被害についての現地調査を行った報告書を作らせていただきました。皆さんにお目通しをいただきたいと思います。 では、休憩、5分でいいですか。
	休憩 午前10時35分 再開 午前10時43分
鈴木委員長	では、再開いたします。 目を通していただいたと思いますけれども、派遣報告書を議長に提出を早々に行いたいと考えております。まず、皆さん、1ページずつ進んでまいりたいと思います。 表紙につきまして、調査年月日から調査内容につきましては、このとおりでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）間違いないですね、字ね。前原さんの字だけちょっと気になるけど。（「うん」の声あり） 続きまして、2ページに移りたいと思います。調査の概要につきましてでございます。この内容は、一応産業振興課よりいただいた資料より文面を作っております。
前原委員	一番下の②の開花時期の早い、括弧で全部囲ってある。それで秋月、幸水に括弧がない。
鈴木委員長	これもそのとおり品種ですね。
前原委員	統一したほうがいいんでないかな。
鈴木委員長	そうだね。したほうがいいですか。
前原委員	次のページは括弧してる。
鈴木委員長	うん。俺、ここだけ忘れたかもしれない。
吉田委員	被害が多い分だけ括弧したんでないの。（笑い声あり）
鈴木委員長	すみません、私、鍵括弧をここに。秋月と幸水についても同じようにすると。ここ忘れてたな。すみません、ここ、鍵括弧を入れます。よろしいですね。（「はい」の声あり） そのほか、ないですかね。 では、休憩します。

	休憩 午前10時46分 再開 午前11時28分
鈴木委員長	再開します。 商工会工業部会との話し合いの予定日を、8月5日、6日に予定をさせていただくことをまず1つ。それで、本日午後の事務方の話し合いでいろいろ決まるかと思しますので、その内容によっては今後、次回行われる委員会の中で、その内容についてもいろいろと皆さんと協議をしていくという方向で進めたいと思います。 あとは、次回の常任委員会は7月29日の9時半ということにいたします。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり） では、以上といたします。
吉田委員	委員長、加美町にいくやつ、13時出発。きちっとした確認を。
鈴木委員長	では、その部分は確認させていただきたいと思います。7月の19日、月曜日になります。出発を13時としたいと思いますので、まず下のロビーの前に集合をしていただいて、13時に出発できるように時間厳守をお願いをいたしたいと思います。
吉田委員	場所どこなの。小野田じゃなくて。
大橋議長	議会は小野田なんだよな。
鈴木委員長	小野田だったら遠いよ。
高橋主事	確認します、すみません。もし、小野田の場合は連絡させていただきますので。
吉田委員	これから1時間でいかないのか。
鈴木委員長	1時間くらいでないですか。 では、場所については、中新田になるか、小野田になるか、確認をさせていただきたいと思います。 そのほかございませんか。
山岸副委員長	1つだけ。常任委員会の凍霜被害の報告書の最後の今後の対応について、このようにして今後検討するとか、努めるというふうになるけど、このことについては、また1回なにか会議をやる予定は。
鈴木委員長	それについても、この間の話し合いの中でも、だいたい8月ないし9月の収穫期に向けた段階である程度の被害の状況がつかめるのではないかといいところも踏まえて、お盆前に可能か、お盆後になるか、早々にその部分で皆さんに集まっていいただいて、この話し合いをさせていただくことと、あとは生産者の要望等もこれから出されるかと思うんですが、それを踏まえながら9月会議への要望書として議長に提出をさせていただくということで進めたいなと思っていました。 だから、梨部会からの要望書をまず出したのも、どういう要望があるかを確認をさせていただいて、8月にもう1度その部分は会議をしたいなとは考えていました。ただ、いつになるかというのはまだ見えないので。
山岸副委員長	9月会議に議長に要望を出すというのであれば、なんぼしても8月にはその要望をまとめなくちゃない。同時に、この間現調に行ったとき、県の調査

	の段階で、今はまだわからないというね。県の調査って、県でも調査はしているんだろうと思うんだけど、その県の調査の結果なんていうのは私たちもわかることできるんだろうか。
鈴木委員長	県の調査。（「うん」の声あり）県のほうはこの間、新聞にも農政部長のお話としてコメントが載っていましたが、支援をどのようなあり方にするかというのはね。一応、これは6月25日現在ということで、農政部長のコメントが載せられていた河北新報がありますが、まあこの部分と、あと被害状況に関しても、今後そういう部分を踏まえながらすると。
大橋議長	生産者は生産者で町に要望出すべっちゃね。
鈴木委員長	その方向ですね。
吉田委員	出してもらわなきゃわかんないっちゃや。相手から意向がないのにこっちからどうのこうのって、そういう話ではないはずだから。そういうような要望、意見等をいただいたものについてどのようにしたほうがいいですねということでしょう。
鈴木委員長	そのとおりだと思います。一応、今、梨部会のほうでも役員会を踏まえて、要望に関しても今後の検討課題を部会の中で話をして、早々に執行部及び議会のほうに出すと。 9月の会議に……。
山岸副委員長	9月間に合うかや。 8月くらいには一定の大きさにはなるんだろうけれども、まだ収穫時期ではないんでしょう。8月では。
鈴木委員長	もうそこまでだいたい目の前に来ている。
山岸副委員長	わかるわけね、そうすると。これくらいの量になって、どれだけの被害になっているかというのは。
前原委員	こっちで、じゃあ大変だろうから事前に先立ってやりますというわけにはいかないんだから。
吉田委員	今後の状況を見据えての判断しかないから。
鈴木委員長	もちろんその方向で考えたいと思いますので、その方向でよろしいですか。
山岸副委員長	9月に間に合わなければ、毎月のように会議があるんだから。そういう方向でね。
鈴木委員長	そのほか、よろしいですか。（「はい」の声あり） では、本日の常任委員会を終了させていただきたいと思います。副委員長お願いいたします。
山岸副委員長	今日はいろいろと、マネジメントのほうは加美町の視察の内容を取りまとめさせていただきました。それから梨部会の要望が上がるようなことも決まっています。商工会工業部会との懇談会のこともございましたので、いろいろと中身が、日程が結構詰まっていますので、皆さん、健康には十分に留意していただきたい、そのように思います。 大変今日は御苦労さまでした。

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和3年7月6日

総務、産業、建設常任委員会

委員長